

## 令和5年度 仙台市立病院 地域医療支援委員会 議事録

- 1 日時 令和5年9月6日(水) 18:45~20:10
- 2 会場 仙台市立病院 3階第3会議室
- 3 出席者 安藤健二郎委員長、渡辺徹雄副委員長、宮崎敦史委員、熱海眞希子委員、佐々木悦子委員、佐々木葉子委員、佐藤俊宏委員、石戸谷滋人委員、佐々木裕子委員  
[事務局] 福井副センター長、八幡副センター長、佐藤医療連携室長

### 4 次第

- (1) 開会
- (2) 病院事業管理者挨拶
- (3) 委員長挨拶
- (4) 新任委員の紹介
- (5) 議事録署名人指名
- (6) 会議の公開
- (7) 報告
  - ・医療連携室における前方連携について
- (8) 議事
  - ・令和4年度における地域医療支援病院の業務報告について
- (9) その他
- (10) 閉会

### 5 配布資料

- 資料1 医療連携室における前方連携について  
資料2 令和4年度地域医療支援病院業務報告書  
参考資料 仙台市立病院地域医療支援委員会設置要綱

### <議事概要>

- (1) 開会
- (2) 病院事業管理者挨拶
- (3) 委員長挨拶
- (4) 新任委員の紹介
- (5) 議事録署名人指名  
議事録署名委員 石戸谷委員に依頼
- (6) 会議の公開  
会議公開の確認 ⇒ 異議なし(傍聴者なし)
- (7) 報告
  - ・医療連携室における前方連携について

(事務局から資料1を説明)

(質疑応答の概要)

【安藤委員長】

医療連携室の構成員である診療情報管理士とは、一般にどのような業務を行っているのでしょうか。

(事務局)

主に DPC 請求に伴う病名の ICD10 コードを管理する業務や診療記録管理、診療報酬制度に係ること、電子カルテのシステム管理などです。当院では多岐にわたって診療情報管理士を配置しており、医療連携室の配置もそのひとつとなっています。

【安藤委員長】

診療情報管理士は医師の代わりに診療情報提供書を記載することもあるのでしょうか。

(事務局)

当院の診療情報管理士は診療情報提供書を記載することではなく、医師事務作業補助者が、医師の代行入力を行っています。

当院の医師事務作業補助者は診療報酬の施設基準で定めている基準を満たすため約 40 名を採用しておりますが、採用する際、診療情報管理士の資格要件は設けてはおりません。

【安藤委員長】

医師事務作業補助者は先生方の負担軽減になっているのでしょうか。

【石戸谷委員】

私の場合は、診療情報提供書を自分で作成しております。診療科により医師事務補助者の業務内容は異なると思いますが、医師事務補助者の業務も多岐にわたっており、今ではなくてはならない存在で、大変医師の業務負担軽減となっております。

【渡辺副委員長】

診療情報提供書は専門的な内容が多いため、作成するのは医師です。医師事務作業補助者は診療情報提供書に添付する検査データや画像データなどの準備及び発送等を行っております。

【熱海委員】

当院のスタッフから市立病院の医療連携室からの予約 FAX に迅速に対応いただいているとのことで感謝申し上げます。医療連携室に配置されている看護師はどのような役割を担っていますか。

(事務局)

当室の看護師の役割は、事務員では頂いた診療情報の内容から緊急性の判断や診療科の選択に難渋する場合などに、各診療科への受け入れの調整を担当しております。

また、コールセンター予約は患者さんからの電話予約のため、情報が十分でないこともあり、そうした際に担当者への助言等を行っております。

**【宮崎委員】**

当院で患者さんの受診数が多い場合、当院のスタッフが市立病院へ直接紹介の予約ができないこともあります。また、緊急性がない患者さんを紹介する際、コールセンターで患者さん自身が予約できるシステムは非常に便利です。しかし、一部の診療科でコールセンター予約ができない理由は疾患の特性なのでしょうか。

**(事務局)**

そのとおりです。事前に診療情報提供書や検査結果の内容を確認し、緊急性及び特殊検査等の必要性の判断をしております。また、検査等が必要な場合、事前に専門的な説明を行う必要があることから、医療連携室経由で予約を行っております。

**【安藤委員長】**

コールセンター予約システムは本当にありがたいです。

**【佐藤委員】**

地域医療支援病院として逆紹介率をクリアするため、スムーズに逆紹介を行うための登録医制度と思われませんが、令和4年度の登録医数が952件との報告でしたが、この数値は多いのでしょうか。また、目標値はありますか。

**(事務局)**

他院の登録数の情報は現在持ち合わせていないため、952件の登録医数が多いのか、申し訳ございませんがわかりかねます。目標値については、新規開設の医療機関等を訪問し登録医の勧奨を行っておりますが、一方、閉院する医療機関もあり、新規開設と閉院する医療機関数が同じくらいですが、今後も増やしていきたいと考えております。

また、当院は高度急性期医療を提供しており、1人でも多くの患者さんに医療提供ができるよう逆紹介に注力しております。

**【安藤委員長】**

今、調べましたが仙台オープン病院の登録医数は660件であり、市立病院のほうが登録医数は多いですね。

**【佐々木(葉)委員】**

宮城県看護協会では、県内には6ヶ所の訪問看護ステーションの事業所があり、市内には青葉と若林があります。市立病院と関わるのは主に若林と思われませんが、コロナ禍でも市立病院主催のオンライン事例報告会に積極的に参加させていただいて感謝しております。先日の地域連携のつどいにも参加させていただき、顔の見える繋がりができました。在宅医療を提供する患者さんも益々増えており引き続き連携を強化していきたいと思っております。

**【佐々木（裕）委員】**

ありがとうございます。顔の見える関係づくりは大事だと思います。今度、市立病院では公開講座も予定しており、是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

**【佐々木（葉）委員】**

宮城県看護協会でも、在宅医療の教育も必要であり、医療機関と訪問看護ステーションや高齢化施設との相互研修等を行い、お互いの役割などの情報共有を図りたいと考えております。また、看護師だけではなく、コメディカルスタッフや介護福祉士等の方々との連携も必要だと思います。

病院から退院し、在宅医療や施設入所を必要とする患者さんも多く、急性期や慢性期医療に関わらず、同じ看護師として患者さんや利用者のために協力出来ればよいと考えております。

**【安藤委員長】**

市立病院から退院する患者さんが在宅医療や訪問看護の必要がある場合、事業所の選択はどのように決定されていますか。

**【佐々木（裕）委員】**

退院後の医療ケアの有無については、退院前に医師を含めたカンファレンスを開催しており、退院に向け事前にディスカッションを行い、退院後の支援の検討をしております。

また在宅医療が必要な場合、事業所の選択は患者さんまたはその家族が決定しています。その際、医療福祉相談室のスタッフから援助を頂き、患者さんに適した提案を行っております。

先日、医療福祉相談室主催でオープンカンファレンスを開催しました。対象者は地域の関係機関の医師、訪問看護師、ケアマネジャー、社会福祉士等が当院に集まり情報交換を行ったところです。

**【渡辺副委員長】**

年度初め、就任の挨拶を病院事業管理者等と近隣の医療機関に訪問させて頂きましたが、昨今、新型コロナウイルス感染症が増えてきており、我々が伺うことはご迷惑でしょうか。

**【宮崎委員】**

迷惑ではありません。

**【安藤委員長】**

日頃、新型コロナウイルス感染症の患者さんを診察しており、その場所に市立病院の先生方に来ていただくのが、かえって恐縮しています。

**【佐々木（悦）委員】**

医療連携室については、いつも丁寧に対応いただき感謝しています。婦人科領域では先翌月のスケジュール等の管理が重要であり、毎年、市立病院で配布される卓上カレンダー

は非常に重宝しています。診察室で活用しており、市立病院の名称が刻まれているため、患者さんへの安心感にも繋がっております。

(8) 議事

- ・令和4年度地域医療支援病院業務報告書 ⇒ 承認  
(事務局から資料2を説明)

(質疑応答の概要)

【熱海委員】

医療機器の共同利用に関して非常に助かっております。消化器内科へ紹介する際は、なるべくMRIやCTを撮影してから紹介しており、紹介先の医師への負担を最小限するよう心掛けております。昨年もこの場で伝えましたが、放射線科の担当者のご対応がよく、市立病院に感謝しております。

【宮崎委員】

私は内科救急・ICLS講習会(以下、「JMECC」という。)のインストラクターをしております。

JMECCは日本内科学会が設けた講習会で内科専門医の資格取得に必要な講習です。東北大学及び仙台医療センターでは講習を行っておりますが、市立病院では行っておりません。臨床研修施設である市立病院は講習に参加できるような体制が必要だと思われま

す。また、JMECCでは、院内急変やRapid Response System (RRS)についてもカリキュラムがあり、診療報酬の急性期充実体制加算の指定される研修となっているようです。

市立病院の救急科高瀬先生及び消化器内科の岩田先生、循環器内科の三引先生インストラクター資格要件を取得するため講習会のアシスタントを行っております。市立病院として受講のバックアップ体制が必要と思われま

【渡辺副委員長】

貴重なご意見ありがとうございました。私は外科医であり、内科専門医の資格要件はわかりませんでした。

RRSについては、当院でも2年前から急変前対応の取組を始めたところです。

【宮崎委員】

まさに、その取組の講習会です。

個人的なことでありますが、令和6年4月、長町南にJMECC講習会を開催する施設を開設することとなりました。JMECCのインストラクター資格の受験要件として、JMECC講習会のアシスタントを3回することが必要であり、仙台ではJMECC開催が東北大学及び仙台医療センターで年1~2回程度でJMECC開催が少ないことからインストラクター育成が不十分であったため開設したいと考えました。

仙台にJMECCインストラクターを増やしていきたいと考えております。市立病院の医師でインストラクターを目指す方がいらっしゃれば一緒にやっていきたいと思

【安藤委員長】

宮崎先生は市民向けに救命救急医療について講演されていましたね。

【宮崎委員】

はい、今後も市民向けも講演を続ける予定です。また、JMECC インストラクターを目指す医師を増やしていきたいと思っております。

【安藤委員長】

JMECC 講習会については、仙台市医師会からも周知していきたいと思えます。

【宮崎委員】

JMECC を開催できるディレクターは県内に 2 人だけです。私もディレクター資格の取得を目指している。

【安藤委員長】

資料 2 のとおり、県に報告してもらおうことでよろしいか。 → 【一同賛成】

(9) その他

(質疑応答の概要)

【安藤委員長】

仙台市における医療のあり方に関する検討会等、行政や仙台市医師会などが参加して、いろいろなところで検討をしているところです。昨今話題となっているのが精神医療センターの移転について、仙台市の精神医療をどのようにしていくか。私は精神科医療について専門外ですが、東北大学の藤森教授は仙台市の精神医療を充実させるためには「市立病院の精神科を充実させる必要がある」とおっしゃっています。現在、50 床ある病床の稼働率はどのくらいですか。

(事務局)

令和 4 年度の精神科病棟稼働率は、新型コロナウイルス感染症患者を病棟に受け入れた影響もあり 18.5% でした。1 日当たりの入院患者数は 9.2 人です。令和 5 年度は新型コロナウイルス感染症患者の受け入れは行われておらず、7 月末現在までの精神科病棟稼働率は 26.1%、1 日当たりの入院患者数は約 13 人です。

また新型コロナウイルス感染症前の平成 30 年度の精神科病棟稼働率は 31.3%、1 日当たり入院患者数は 15.7 人です。

【安藤委員長】

現在、精神科の医師は何名いらっしゃるのでしょうか。

(事務局)

6 名です。

【安藤委員長】

市立病院の精神科の特徴はなんですか。

【渡辺副委員長】

当院の精神科は身体合併症の精神疾患患者を診る方針です。病床稼働率に関しては、精神科病棟が令和4年度新型コロナウイルス感染症患者の入院の受け入れ先となったことから病床稼働率は減少しましたが、現在は徐々に回復しているところです。また、コンサルテーションリエゾンセンター（CLC）準備室も開設しました。

【熱海委員】

市立病院のメディカルソーシャルワーカーへ、医療福祉制度及び在宅、介護サービス等の相談について、市立病院を利用していない方及び登録医からの紹介で相談サービスを利用することは可能でしょうか。

（事務局）

当院の通院及び入院患者の相談はもちろんのこと、それ以外の方からの相談も受け付けており、医療福祉相談室で対応しております。

【熱海委員】

相談サービスを利用する場合、診療情報提供書等の提出は必要ですか。

（事務局）

必ずしも診療情報提供書は必要ではなく、一般の相談として対応しています。

【安藤委員長】

私たちにとっても、有意義な新たな情報を頂きました。

(10) 閉会

議事録の記載内容につきまして、すべて相違ありません。

令和5年10月12日

議事録署名委員

石戸谷 滋人



